

ハンドヘルドマイク

警告

これらの警告および注意に従わない場合、怪我を負ったり、船舶が破損したり、製品の性能が低下したりする可能性があります。

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、ステレオボックスに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

このデバイスは、次の手順に従って取り付けする必要があります。本製品の取り付けを開始する前に、船体の電源を外してください。

注意

目や耳の保護、または粉塵による被害等を防止するため、掘削や切断、研磨作業等を行う際には、常に安全メガネや防音用の耳栓、防塵マスクを着用してください。

注記

船舶の破損を防ぐため、ドリルで穴を開けたり、のこぎりで切断したりする場合は、表面の反対側に何があるか常に確認してください。

取り付けを開始する前に、必ずすべての取り付け手順をお読みください。取り付け時に問題が発生した場合は、Fusion®製品サポートにお問い合わせください。

必要な工具

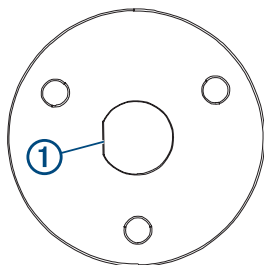
- 鉛筆
- ドリル
- 16 mm (5/8 in.) ドリルビット
- 2.5 mm (3/32 in.) ドリルビット
- 16 mm (5/8 in.) ソケットまたはレンチ
- プラスドライバー
- 耐海水性のシーリング材 (オプション)

コネクタマウントの取り付け

コネクタを取り付ける穴を開ける前に、マイクケーブルがステレオの背面とコネクタの取り付け位置に届く長さになっていることを確認してください。

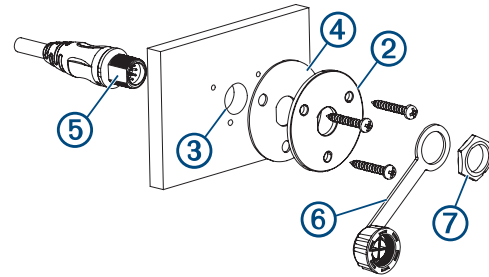
付属のハードウェアを使用して、マイクケーブルの端にあるコネクタをダッシュボードまたはその他の取り付け面に取り付けることができます。

- 中央の穴 ① の平らな端が左側を向くように取り付けプレートの向きを合わせ、コネクタを取り付ける面に置きます。



平らな面が左以外の方向を向くようにプレートを向けると、マイクケーブルは接続時に下向きになりません。

- 取り付けプレート ② をテンプレートとして使用し、取り付けプレートの中央にあるケーブル穴をトレースし、ねじの位置をマークします。



- 取り付けプレートを脇に置きます。取り付けプレートに穴を開けないでください。
- 16 mm (5/8 in.) のドリルビットを使用して、取り付け面にセンターケーブルの穴 ③ を開けます。
- 2.5 mm (3/32 in.) ドリルビットを使用して、ドリルでパイロット穴を開けます。
- 取り付けプレートと取り付け面の間にゴム製ガスケット ④ を置きます。
- 付属のねじを使用して、取り付けプレートとガスケットを取り付け面に取り付けます。
- マイクケーブルをステレオの背面とコネクタマウントに配線します。
- コネクタ ⑤ を取り付け面の背面に通します。
- ナット ⑦ を使用して、コネクタとウェザーキャップ ⑥ を取り付けプレートに固定します。

注記

コネクタからマイクを外す場合は、コネクタ接点の腐食を防ぐために、ウェザーキャップを固定する必要があります。

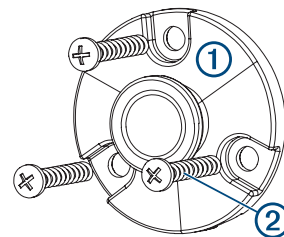
マイクハンガーの取り付け

注記

ねじでブラケットをグラスファイバーに取り付ける場合は、カウンターシンク形のドリルで、最上部のジェルコーティング層のみにカウンターボア (ナットの頭を収める空間) を開けることをお勧めします。このように処理することで、ねじを締めるときにジェルコーティング層のひび割れを防ぐことができます。

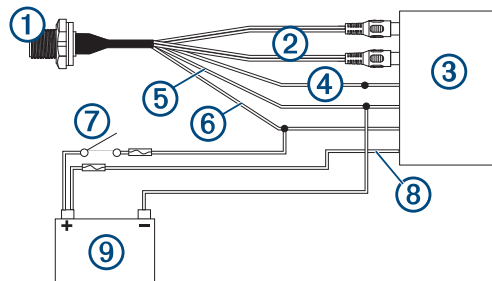
マイクハンガーは、無線機の近くのアクセスしやすい場所に取り付けることができます。

- マイクケーブルが届く範囲にマイクの取り付け位置を決めます。
- マイクハンガー ① をテンプレートとして使用して、パイロット穴の印を付けます。



- 3 mm (1/8 in.) のドリルビットを使用して、取り付け穴を開けます。
- 付属のねじ ② を使用して、取り付け面にマイクハンガーを固定します。

接続図



①	マイクコネクタ	マイクコネクタは、手の届く場所にしっかりと取り付けることができます (コネクタマウントの取り付け, 1 ページ)。
②	RCA コネクタ	これらは、ステレオワイヤハーネスの AUX IN コネクタに接続する必要があります。ステレオに複数の AUX IN 端子がある場合は、AUX1 端子に接続する必要があります。
③	互換性のあるステレオ	
④	TELEMUTE	マイクをアクティブにしたときにソースを変更する場合は、マイクケーブルの裸線をステレオワイヤハーネスの TELEMUTE ワイヤに接続する必要があります (ハンドヘルドマイクの操作, 2 ページ)。
⑤	マイナス (-) 電源接続	最良の結果を得るには、マイクのマイナス (-) 線をステレオと同じマイナス (-) 端子に接続する必要があります。
⑥	プラス (+) イグニッション電源接続	バッテリーの消耗を防ぐため、ハンドヘルドマイクのプラス (+) ワイヤをステレオからイグニッションワイヤに接続する必要があります。イグニッションまたは手動スイッチに接続する前に、3 A ヒューズを経由して組み合わせたプラス (+) とイグニッションワイヤを配線する必要があります。
⑦	イグニッションまたは手動スイッチ	イグニッションまたは手動スイッチを押すと、ステレオとマイクがオンになります。
⑧	ステレオ電源プラス接続	バッテリーの消耗を防ぐため、マイクのプラス (+) ケーブルをステレオからの定電カケーブルに接続しないでください。
⑨	電源	

ハンドヘルドマイクの操作

ハンドヘルドマイクを操作する前に、ステレオを設定する必要があります (ハンドヘルドマイクの Fusion ステレオの設定, 2 ページ)。

ステレオの任意のソースからハンドヘルドマイクを使用できます。マイクボタンを押したときにソースが AUX1 以外に設定されている場合、ソースは自動的に AUX1 に切り替わり、ボタンを放すと元のソースに戻ります。

注: マイクの音声を出力するスピーカーの前には立たないようにしてください。スピーカーの前に立つと、マイクがスピーカーからの放送を拾ってハウリングの原因になります。

1 ステレオで任意のソースを選択します。

注: ステレオを AUX1 ソースに設定した場合、マイクボタンを押して話すまで音は聞こえません。

2 マイクの側面にあるボタンを押しながらマイクに向かって話します。

注: ステレオがソースからの音楽を再生している場合は、アナウンスの冒頭が切れないように、約 2 秒待ってから話してください。

3 話し終わったら、ボタンを放します。

ボタンを押す前にステレオがソースから音楽を再生していた場合、ステレオは自動的にそのソースに戻ります。

ハンドヘルドマイクの Fusion ステレオの設定

1 ステレオで、**≡** > 設定 > テレミュートの順に選択します。

2 AUX1 を選択して、チェックボックスをオンにします。

ハンドヘルドマイクの側面にあるボタンを押し続けると、ステレオが AUX1 ソースに変わります。

3 **≡** > 設定 > ソース > AUX1 の順に選択します。

4 PartyBus 有効を選択して、チェックボックスをオフにします。

このチェックボックスをオフにすると、AUX1 ソースは Fusion PartyBus™ ネットワーク経由のストリーミングに使用できなくなります。ストリーミング中に発生するわずかな遅延によるハウリングを避けるため、マイクソースのネットワークストリーミングは無効にすることをお勧めします。

ハンドヘルドマイクのゲインの調整

マイクによる放送の音量がステレオの他のソースに対して大きすぎる、または小さすぎる場合は、AUX1 ソースのゲインレベルを調整できます。

1 ステレオで、ソースを AUX1 に変更します。

2 ゲインを調整して、マイクの音量を 1 db ずつ上下します。

プラス (+) ゲイン設定を使用するとマイクの音量が上がり、マイナス (-) ゲイン設定を使用するとマイクの音量が下がります。

仕様

マイクの寸法 (H×W×D)	88 × 60 × 34 mm (3 ¹ / ₂ × 2 ³ / ₈ × 1 ¹ / ₃₂ in.)
電源ケーブルとオーディオケーブルの長さ	60 cm (23 ⁵ / ₈ in.)
周波数応答	100 Hz ~ 4 kHz
マイクの重さ	250 g (8.75 oz)
出力 (最大)	1 Vrms
THD+N (Vo = 1 Vrms, 1 kHz)	0.1% Vrms 未満
ゲイン	+18 ± 0.5 dB
負荷インピーダンス (最小)	10k Ohm
動作電圧	DC 10.5 ~ 32 V
電流 (DC 14.4 V 時)	0.005 A
ヒューズ (付属していません)	3 A
防水等級	IEC 60529 IPX7 ¹

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

Garmin®、Garmin ロゴ、Fusion®、および Fusion ロゴは、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

M/N: A13014

¹ 詳細については、garmin.com/waterrating を参照してください。